

■■再確認・コミケットの基本マナー■■

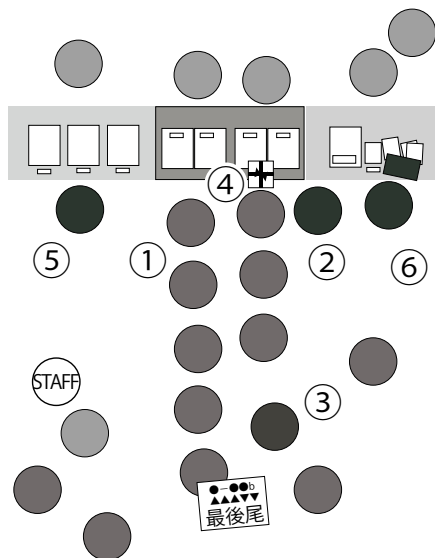
一般参加者同士、参加者とサークル、立場はさまざまでも1人の参加者と1人の参加者とのコミュニケーションが何十万と集まってコミケットを作っている。どんなに参加者が増えても、規模が大きくなっても、それが変わることはない。コミケット参加者が長年にわたりお互いに気持ちよくイベントを楽しむために培ってきた独自のマナーやルールは、そのコミュニケーションを円滑にし、貴重な会期中の時間をお互いにとってより有効に活用するための実用的なテクニックでもある。

相手や周囲に気を配ることが、結果的に自分の行動をより効率的に行えるというメリットに繋がる、ということは、参加者全員が覚えておいてほしい。

■並びの基本・購入の基本■

入場待機からはじまり、トイレでも少しでも人気のサークルでも即行列。コミケットの行列と言えば、今やそのスマートさにおいて一般社会にまで鳴り響く、名誉ある財産である。しかし、その行列を作るのは我々1人1人の参加者であり、1人1人がきちんと並んでいるからこそ、スムーズな行列や移動が成立していることは忘れてはいけない。

- ①行列は決められた範囲に形成する。サークル前の行列であれば、隣のサークルの前にはみ出してはいけない。自分の荷物は身体にひきつけて持ち、前後だけでなく左右の人数も出来るかぎり揃えつつ、行列自体をコンパクトに圧縮しよう。列の周囲にも他の参加者がひしめいていることをお忘れなく！
- また、列では誰かが場所取りをして途中から仲間が加わるのは禁止だ。ただし入場待機列では、最初並んでいた場所からトイレなどのために一時的に列を離れるのはOK。その際は周囲の参加者に一声かけ、了解を得てから列を離れること。



- ②行列があるのにその周囲からサークルに手を伸ばすのはルール違反。そこがたとえ知人のサークルであっても、事前にサークル側から指示を受けていない限り、列の最後尾に並び、最後尾に来たら最後の人か掲げている『最後尾札』を引き継ぎ、より新しく並ぼうという人が来るまで掲げておく。
- ③長時間動かない開場前の入場待機列以外では列は頻繁に進んだり、場所自体を移動することもある。誘導指示を聞き逃す、移動の合図を見落とすといったことがささないよう、行列中ではヘッドホン類は外し、携帯ゲーム機などもしまっておこう。
- ④購入時のお金はすぐに取り出せるように、順番が近づいてきたら財布は手元に用意。サークルに挨拶したり、声をかけてもよいが、自分の後ろにも行列があるようならごく短時間に済ませよう。できれば事前に手紙を書いておいて渡すのが自分の気持ちをしっかり伝えられ、サークルにも他の並んでいる参加者にも時間を取らせずに済むベストな方法だ。サークルへのプレゼントにも必ず差出人の名前と連絡先(メールアドレスやSNSのIDなど)、メッセージを書いたカードを付けること。せっかくのプレゼントも、どこの誰からか分からない物では、サークル側も安心して受け取れない。

- ⑤たとえ行列がなくても、サークルの前に長時間滞留して話し続けるのはNG。サークル側の信用のおける友人でスペース内に余裕があるなら中に入ってもらい、余裕が無ければサークル側が出て別の場所でゆっくり話そう。まれに、サークル側が退去をお願いしても無視して留まり、一方的に話し続ける人がいるが、なかなか当該のサークル主は強い対応が難しい。左右のサークル参加者がそういった滞留に気づいたら、スタッフを呼びに行く、注意するなどの助け舟を出そう。



- ⑥卓上に並んでいる本やグッズ、ディスプレイまで含めて、そのサークルの大切な作品である。お金のやり取りの際に積んである本の上に荷物を置いたり、お金を本の上に置くのは本を傷つけたり、崩す危険があるのでやめよう。